



# 小暮ひろし市議会報告

新政佐野 小暮博志

〒327-0824 佐野市馬門町1597番地  
TEL・FAX 0283-23-8263  
E-mail kogurehi@sctv.jp

紙面

- ・議員生活2年が経過
- ・石巻市災害ボランティア(5月7日)
- ・ライオンズクラブ三役研修会(6月5日)

- ・第6回佐野市消防操法大会(6月12日)
- ・平成23年第2回6月定例議会(6月3日～17日)

## 議員生活2年が経過

3月11日に未曾有の東日本大震災が発生し、2万2千人以上の死者・不明者と10万人以上の避難者となっております。

この様な地震発生によりまして、合併時の課題でもありました、佐野本庁舎の建て替えと言う状態が持ち上がっております。

議員生活も2年が過ぎましたが、初心に帰り、頑張りたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻をお願い致します。

### 一 行動基準

- ・合併後の、住みよい街づくり
- ・市民の声が届く、街づくり
- ・安全で、環境のよい街づくり

## 石巻市災害ボランティア(5月7日)

佐野市福祉協議会まとめによる、ボランティアの記事が下野新聞に掲載されたので、参加してきました。

石巻市は、昨年8月に、総務常任委員会で行政視察に行きました。議員の積極的な活動を定めた「議会基本条例」の制定や、寄附された駅前の百貨店を新庁舎に改造して、安く庁舎の建設をしておりました。

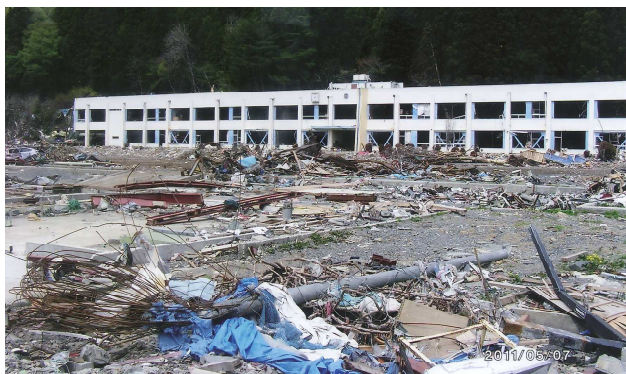
少しでも手助けしたく、参加しました。

内容は、復興支援日帰りボランティアで、3:15 出発し 22:30 に帰宅しました。30人の参加者でした。

石巻ボランティアセンターで指示されて、人口4万7千人だった雄勝町で、硯(すずり)やスレートの原料となる石の回収をして来ました。

雄勝町は硯の生産量が日本一。雄勝スレートは国の重要文化財のJR東京駅の屋根材として使われています。

周りの光景は、震災から57日も経過していましたが、学校の前にもがれきが多く有り(写真下)、電柱も砕け、



津波の凄さを示していました。

少し高い所には、車が多く流されてきており(写真下)、人も見られず、恐ろしさを覚える光景でした。

市役所は全く機能せず、玄関で3～4人の職員が、罹災証明の発行をしていました。

避難所を作る高台の所も見当たらず、町の復興の大変さを強く感じました。一日も早く、災害に強い町が出来ることを祈るばかりでした。



## ライオンズクラブ三役研修会(6月5日)

7月より佐野中央クラブの会計を担当することになりました。世界で最も大きなボランティア組織で、世界には45,867クラブがあります。その一クラブとし、私達クラブ員30名の、迅速で公明な会計報告の義務について学んできました。

活動の紹介ですが、今回の東日本大震災援助金としてライオンズクラブ国際財団(LCIF)から寄附要請が有りました。我がクラブは、寄附として100万円送付しました。世界組織のLCIFは、東日本大震災に対しても援助金等の活動をしています。

## 第6回佐野市消防操法大会(6月12日)

消防操法大会が田沼グリーンスポーツセンターで開催されました。ポンプ自動車の部に6台、小型動力ポンプの部に4台が参加して行われました。

ポンプ自動車の部では第20分団第1班、小型動力ポンプの部では第21分団第3班が優勝しました。実際に水を出しての操法大会であり、各分団とも練習の成果が見られ、素晴らしい実技でした。この様な練習は、有事のときに生かされることであり、頼もしく感じられました。

私も、35年程前に操法大会に参加した経験もあり、とても懐かしく思いながら見学しました。

## 平成23年第2回6月定例議会(6月3日~17日)

今回の定例議会では、人事案件、報告9件、議案28件及び一般質問が議題となりました。次の内容について、詳細報告します。

- (1) 正副議長、監査委員の選出等
- (2) 補正予算、仮庁舎建設関係等
- (3) 一般質問 (質問者16名)

### (1) 正副議長、監査委員の選出等

正副議長の選挙が行われ、議員数27票中の21票を獲得して選出されました。

議長：荒井仁市(会派：新政佐野、72歳)

副議長：大川圭吾(会派：市民ネット、57歳)

市長より監査委員の選任の提案があり、議員数27票中の24票の賛成で可決されました。

監査委員：高橋 功(会派：大樹会、60歳)

小暮ひろしは、建設常任委員会の副委員長と、9名で構成されている議会運営委員会の委員になりました。

### (2) 補正予算、仮庁舎建設関係等

東日本大震災で、佐野市でも本庁舎議会棟建物部分が使用不可となる、様々な被害が発生しております。

被害総額は、6,980万円にもなっております。内訳として、議会棟応急工事費約570万円、会計課や収納課等の移転費約230万円、13施設の災害復旧事業費約1,670万円、施設休業補償費約490万円、人件費約1,890万円、避難者支援費約260万円等です。

佐野本庁舎が耐震的に持たないため、合併特例債を使用して平成26年度に新築する予定であります。

仮庁舎建設に、約3億4,360万円を計画。NTT東日本佐野ビルの借用と勤労者会館南側に2階の仮設事務所設置して移転する整備事業費になっています。

佐野市内では、震災によりまして全壊1軒、半壊2軒、一部損壊338軒発生しております。被害者支援見舞金として、600万円が予算化されました。被災者で一部損壊の方には、1万円の見舞金を出す計画になっております。

又、みかもクリーンセンターごみ焼却処理施設包括運営管理業務委託ですが、4年5ヶ月(平成23年11月1日から)の入札結果は、約6億5千万円/年(落札率94.99%)で、日立造船(株)と日神サービス(株)共同企業が落札。《小暮調査結果：5市の平均は約6億4千万円。(小暮ひろし市議会報告第4号2010年3月31日発行)》

昨年、17年間の委託費として債務負担行為として約143億円(約8億6千万円/年)が示されたが、高額で、この様な長期には責任は持てないとの意見が議員にあり、予算案が白紙となった案件です。市議らも加わった検討委員会で協議がなされ、市当局も努力し、今回、約5年の技術提案型一般競争入札が行われました。

### (3) 一般質問 (質問者16名)

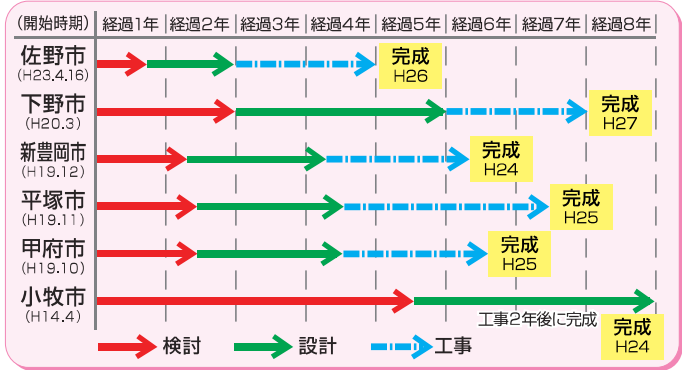
\*\*\* 小暮ひろしの一般質問 \*\*\*

#### 1. 佐野市役所本庁舎について

3月11日に発生しましたM9という三陸沖での大地震

によりまして、佐野市本庁舎でも大きな被害が発生しました。4月27日の議員全員協議会で仮事務所移転と庁舎建設のスケジュール案が示されました。

現在、庁舎建設中の他市の状況を見ますと、検討を始めてから5年4ヶ月、5年半、6年半、7年、10年等が有りました。長い期間を費やして庁舎建設に当たっております。



人口約5万9千人の下野市は、合併特例債20億円を利用し、建設概算51億円で庁舎建設を進めていました。

新庁舎建設に向けて、市民参加による「下野市庁舎建設委員会」を設置し、約1年9ヶ月、11回にわたり検討がなされ、新庁舎の建設位置については、最終的に1つの候補地を選定し、市長に「庁舎建設基本構想」を答申。

この後、議会において、全議員で構成する「庁舎建設特別委員会」を設置し、新庁舎建設の必要性、分庁方式と本庁方式、建設時期、財源、既存施設の利活用、庁舎建設位置について、6回にわたり協議が行われております。

佐野市も、これから立ちあがる政策審議会で色々と審議されて行きますが、今年9月の基本構想完成に向けて、庁内での検討や推進状況を、お聞きしたいと思います。

次に、今回の庁舎建設の検討期間が短くなる理由として、財源として合併特例債を活用することに有ります。

今、庁舎建設費はどれ位必要と考えており、合併特例債を利用することにより、佐野市の財源としてどれ位の負担減になるのか、お聞き致します。

(答弁) 内部委員会を立ち上げて検討している。建設費はまだ出ていない。特例債の70%が負担減となる。

#### 2. 15%節電の対応について

東日本大震災による電力不足により、15%の使用削減が、通産省より発表されております。佐野市は、どの部署が先頭に立って、どのようにして節電を計ろうとしているのか、お聞きいたします。

大停電を防ぐためには、電気消費の約30%を占める家庭の協力が重要です。学校でも生徒への、家庭での教育と協力をして欲しいと思います。どう考えているか。

又、電力不足解消として、みかもクリーンセンターの発電機をフル運転させることによりどれ位発電でき、小中学校のエアコン何台くらい運転できると考えられるのか。

(答弁) 環境政策課が主体で進める。市政だよりや教育の中で徹底して行く。473台を運転する発電量。

《私の意見：新設エアコンは494台で、ほぼ全数を運転出来る発電量。不足時はフル運転してほしい。》